

■ 第23回アジアこども会議 ■



- ◆日時 : 2016年8月4日(木) 14時45分~17時15分
- ◆会場 : 参議院議員会館 1F101会議室
- ◆会議参加者 : コンクール受賞者 (国内:11名、海外:2名 計13名)
- ◆テーマ : 「大切な資源」
- ◆内容 : 班ごとに話し合いその成果を発表し、最後に「こどもアジェンダ21」宣言をまとめ、参加者全員の署名入り宣言書を環境大臣に手渡す
- ◆基調講演 : 環境省 リサイクル推進室 鈴木弘幸室長補佐
- ◆プログラム : 主催者代表挨拶 <地球こどもクラブ 中江利忠副会長>
環境省 鈴木室長補佐による、基調講演「大切な資源」
3班に分かれ「大切な資源」について話し合い、まとめた後、班ごとに発表

- 「こどもアジェンダ21」宣言とりまとめと記入(日本語・韓国語)子供たちの代表より、環境省 リサイクル推進室 鈴木室長補佐(環境大臣代理)へ宣言書を手渡す
閉会



環境省 リサイクル推進室 鈴木室長補佐の基調講演。

スマートフォンの模型を使い、家庭にある身近な電化製品の中にも、金や銀といった希少金属が含まれており、それらを再資源化すると、膨大な量になると言う説明を聞き、子供たちは大変驚いていた。捨ててしまえばゴミになるが、リサイクルすれば資源になる事を学んだ。また、限りある資源を守るため、食べ残しが無いよう必要な分だけ買う、買い物へ行った時には、エコバックを必ず持って行くなど子供たちは確認しあっていた。

その後、3班にわかれ、「大切な資源」について話し合い意見交換がなされた

◆日本×韓国 1班

一部抜粋

- 韓国では、毎年4月5日に「植木日」という日があります。その日は、植林や苗木を育てるといった木を守るイベントがあります。そういった活動に参加することで、環境に対する意識を高めることができます。また、太陽光や風力などの自然エネルギーを活用することで、限りある資源を守ることができます。
- 各家庭で、コンポストをやることをおすすめします。あまった食べ物をたい肥にする事が出来て、生ゴミを減らせます。その土を家庭菜園で使えば、生ゴミが再びおいしい野菜を育ててくれます。



◆日本 2班

一部抜粋

- 学校では、履けなくなった靴を収集し、海外へ寄付をする活動をしています。この活動で、靴が再利用される事になり、資源の節約につながっています。家では、ゴミの分別を徹底して行ってます。歯ブラシを購入した際に、紙とプラスチックの部分に分かれている製品などは、気をつけて必ず分けて捨てます。
- 日本には、水は豊富にあります。海外では大変貴重な資源です。お風呂の残り湯を掃除や洗濯に使ったり、雨水をためて庭の植物の水やりや、打ち水などに使い少しでも有効に使う事が大切です。



◆日本 3班

一部抜粋

- 資源は限られているので、大切に使い、そして繰り返し使うことが大切だと思います。いらなくなった布製品なども、何かに使えないか考えると、エプロンやハンカチになります。アイデア一つで環境を守れます。
- ビルなどの屋上にソーラーパネルなどを設置するのもいいですが、緑化した方が人の癒しにもなり、空気もきれいになるのでお得だと思います。子どもでも出来る資源の守り方は、たくさんあるのでそれらを家族や学校で話し合い行動することをしていきたいです。



「子どもアジェンダ21」宣言

【 地球の緑は心の緑 限られた資源を有効に使おう！ 】



- 日本・韓国の受賞者全員の署名がされた色紙に宣言を日本語、韓国語で記入。環境省 リサイクル推進室 鈴木室長補佐に手渡した。